

倶多楽の火山活動解説資料（平成29年8月）

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1～5、図6-①）

1日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。日和山山頂爆裂火口、大湯沼爆裂火口及び地獄谷爆裂火口の噴気や火口の状況に特段の変化は認められませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、これまで高温域が認められていた大湯沼の北方噴気孔群や西方噴気孔群のほかに、駐車場に近い北東側の水面にも温度の高まりが認められました。

22日朝に大湯沼でお湯が吹き上がっているとの情報を受け、同日午後現地調査を実施しました。調査では駐車場に近い大湯沼の北東岸で、最大で1メートル程度のお湯の吹き上げを確認しました。大湯沼では過去に北岸や西岸でもお湯の吹き上げがみられています。地震の増加や日和山の噴気の高さ等に変化はありません。

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図6-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図6-③）

GNSS²⁾連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。また、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平26情複、第658号）。

次回の火山活動解説資料（平成29年9月分）は平成29年10月10日に発表する予定です。



図1 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況（8月30日、414m山監視カメラによる）

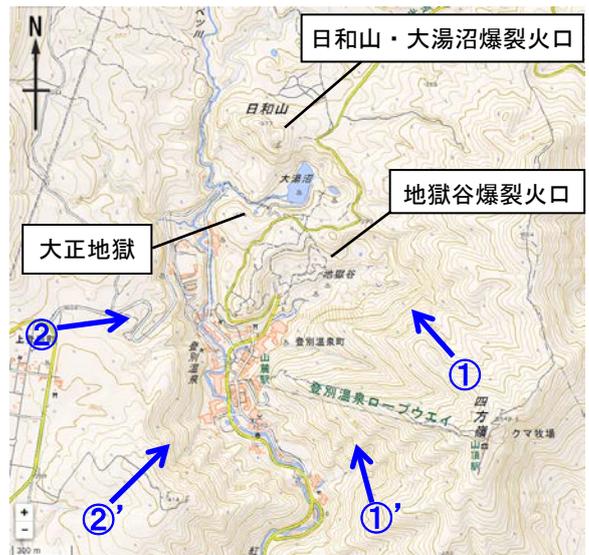


図2 倶多楽 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

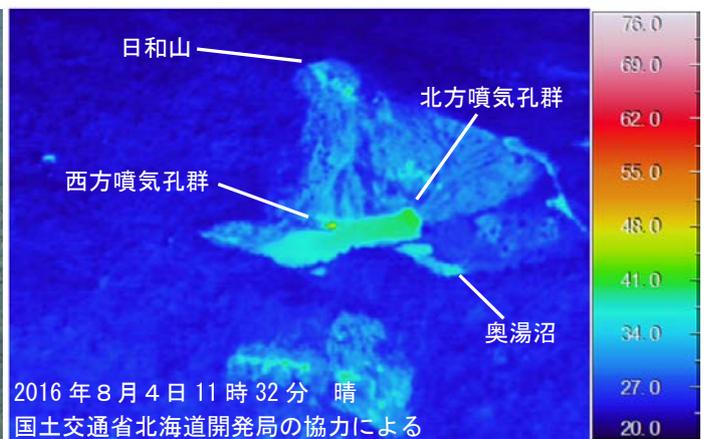
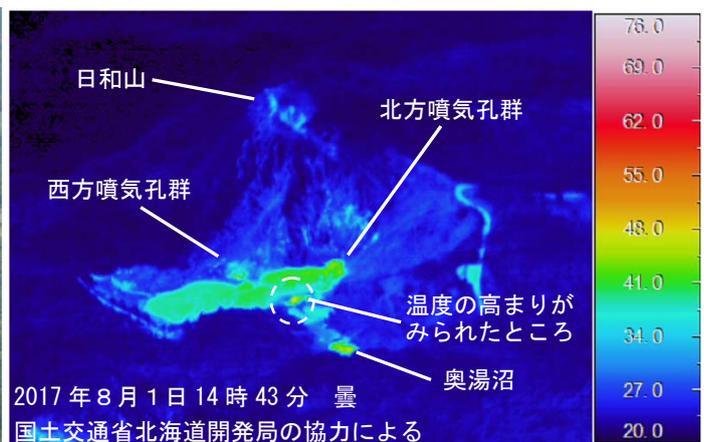


図3 倶多楽 赤外熱映像装置による日和山・大湯沼爆裂火口周辺の地表面温度分布
 上：南東側上空（図2の①）から撮影
 下：南東側上空（図2の①'）から撮影
 ・日和山や大湯沼の噴気や地表面温度分布には特段の変化は認められませんでした
 ・大湯沼の北東岸に温度の高まりがみられました（白色破線部）

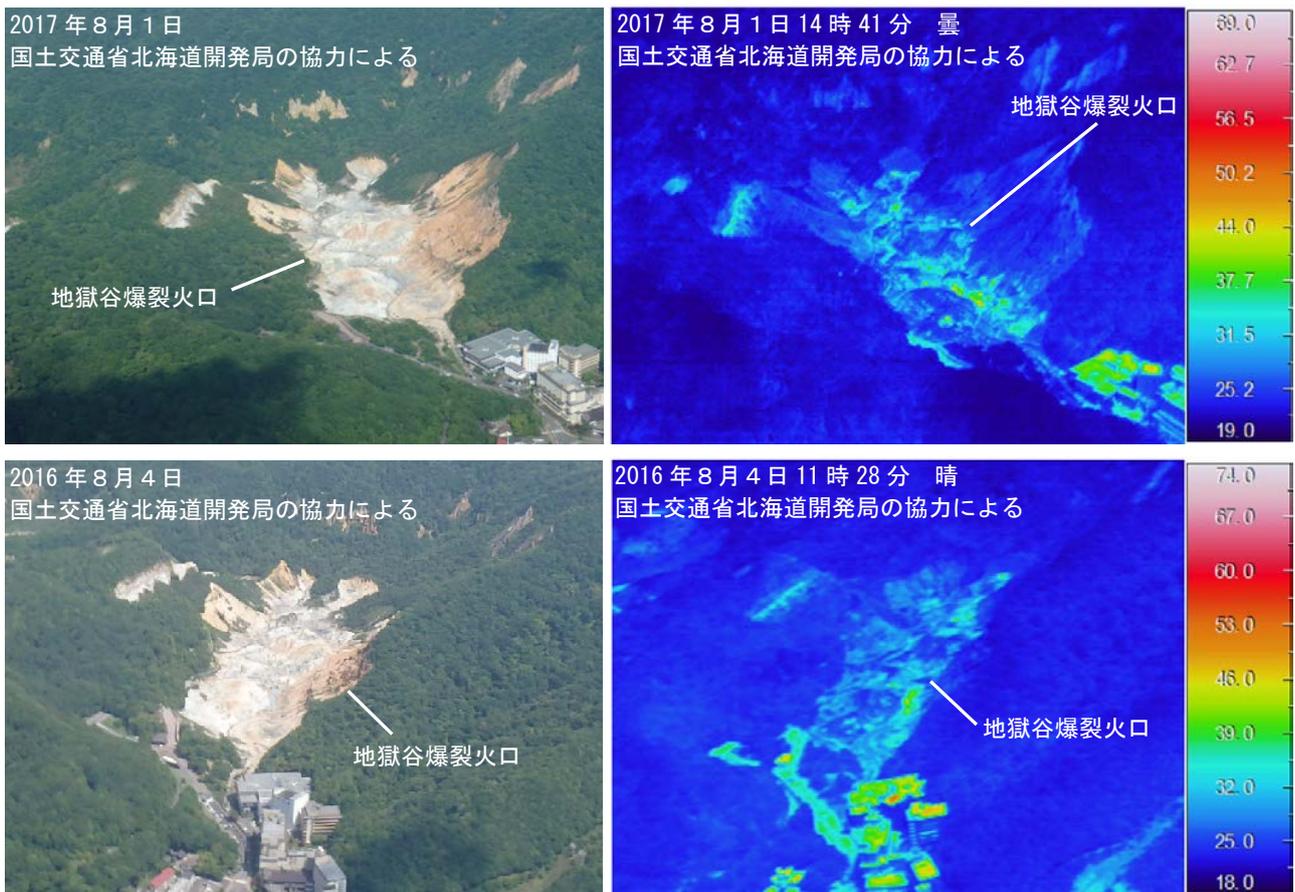


図4 倶多楽 赤外熱映像装置による地獄谷爆裂火口の地表面温度分布

上：南西側上空（図2の②）から撮影

下：南西側上空（図2の②'）から撮影

・地獄谷爆裂火口の噴気や地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした



図5 倶多楽 大湯沼周辺図と写真撮影の方向（矢印）とお湯の吹き上がりの状況

・大湯沼の北東岸で高さ1メートル程度のお湯の吹き上がりを確認しました（左図の赤丸）

・大湯沼では過去に北岸や西岸でもお湯の吹き上げがみられています

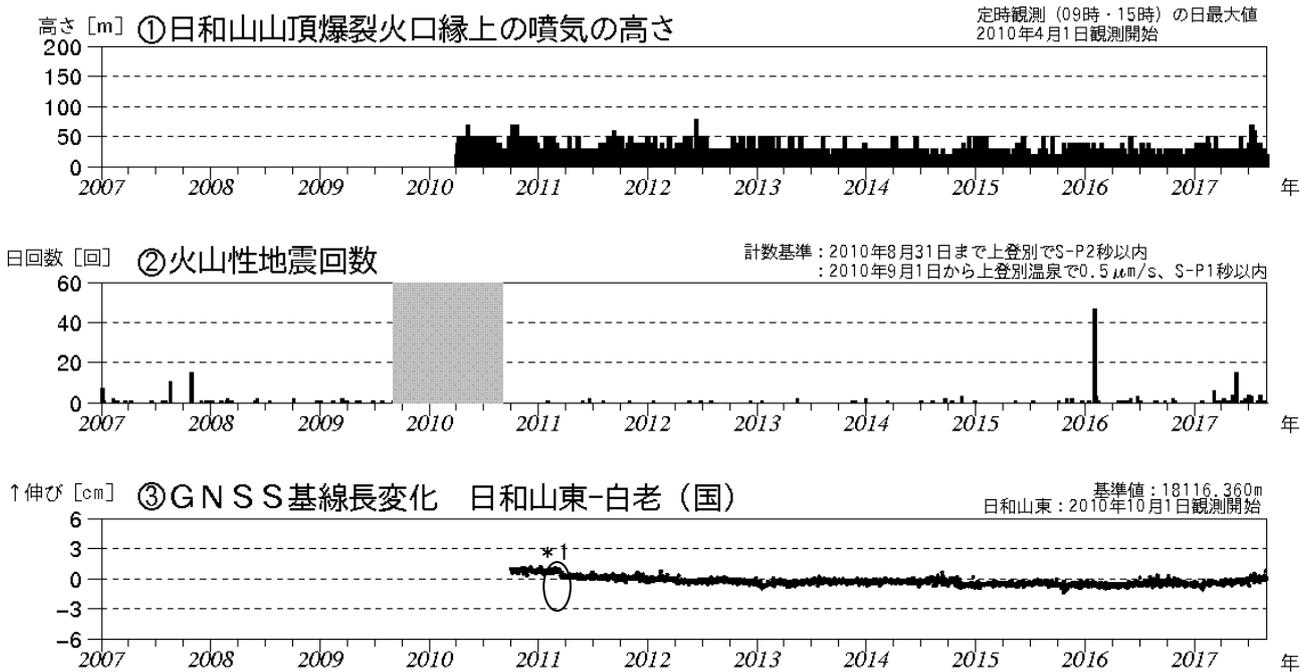


図6 倶多楽 火山活動経過図（2007年1月～2017年8月）

- ・②の灰色の期間は機器障害による欠測を示します
- ・③のGNSS基線は右配置図の基線に対応しています
- ・（国）：国土地理院
- * 1：楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

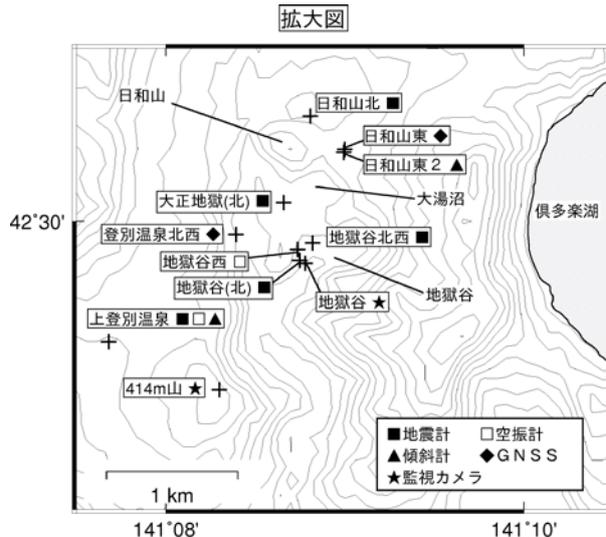
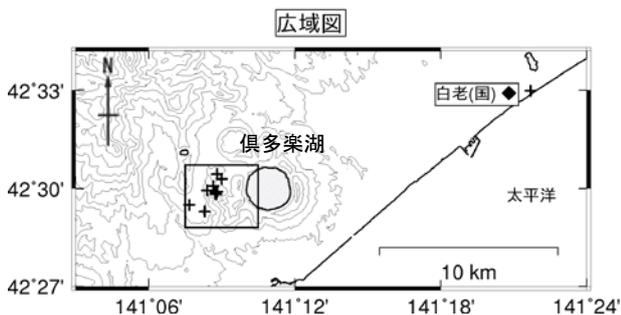
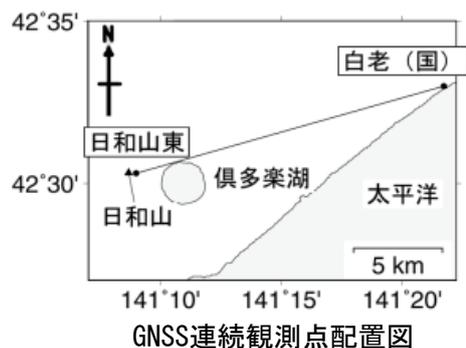


図7 倶多楽 観測点配置図

- 広域図内の口は拡大図の範囲を示します
- +印は観測点の位置を示します
- 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
- （国）：国土地理院
- （北）：北海道大学